

車検証チェック機能 の一時停止について

(申請者向け)

平成27年6月15日

関東地方整備局 道路部 交通対策課

1. 車検証チェック機能の目的

申請者

申請書作成段階における車検証チェック機能により車両諸元入力ミス等による差し戻し件数の低減

道路管理者

審査時に行っている申請書の目視による確認項目・作業の効率化

結果：審査期間の短縮を図ることを目的として車検証チェック機能を導入

2. 車検証チェック内容(3/31時点の仕様)からの変更点

- 車検証の不備等による影響を考慮し、チェック仕様を以下のとおり変更し、車検証チェックを再開しました

| | 3/31時点の仕様 | 6/1以降の仕様 |
|---------------------|--|---|
| チェック対象外車両 | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>その他軸種の車両</u> ・<u>車種がポールトレーラ</u> ・<u>付属物のあるトラクタ</u> ・備考欄に<u>その他検査事項930</u>が記載されているトラクタ ・<u>軸重の記載位置(前前、前後、後前、後後)が通常と異なるため、チェックできない車両</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>その他軸種の車両</u> <p>※付属物のある車両は正しい入力方法を周知することによりチェック対象とすることが可能となった</p> |
| チェック対象外車両の確認方法 | 申請書(車種、軸種)及び車検証(付属物の有無、その他検査事項)で確認が必要 | 申請書にて確認(その他軸種であるか否か) |
| 車検証チェックでエラーとなる車両 | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>車検証取得後、DBに反映されていない車両</u> ・<u>軸重の合計が車両自重より大きな車両</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・<u>車検証取得後、DBに反映されていない車両</u> ・<u>分担荷重のあるポールトレーラ</u> ・<u>軸重の合計が車両自重より大きな車両</u> ・<u>軸重の記載位置(前前、前後、後前、後後)が通常と異なるため、チェックできない車両</u> (OKとなるパターンを増やした上でチェック対象とする) |
| 車検証チェックでエラーとなる車両の扱い | <ul style="list-style-type: none"> ・申請不可 ・代表車両の登録番号に「<u>不明</u>」と記載すればチェックを行わず、申請可能 | <ul style="list-style-type: none"> ・申請不可 ・代表車両の登録番号に「<u>要審査</u>」と記載すればチェックを行わず、申請可能 |
| 正しい車検証チェックができない車両 | <ul style="list-style-type: none"> ・付属物ありの重量が車検証下段に記載されているトラクタ ・第5輪荷重欄に緩和時の車両総重量が記載されているトラクタ ・軸重の記載がない車両 | <ul style="list-style-type: none"> ・付属物ありの重量が車検証下段に記載されているトラクタ ・第5輪荷重欄に緩和時の車両総重量が記載されているトラクタ ・軸重の記載がない車両 |

3. 車検証チェック項目(申請書作成時)

○ 車検証の不備等による影響を考慮し、チェック仕様を以下のとおり変更しました

| No | チェック項目 | 差戻し対象 | チェック単位 | 申請書(入力値) | 判定条件(OK条件) | 車検証(全車両の値) | 対象車両 | 留意事項 |
|----|-------------------|-------|--------|---------------------------------------|------------|-----------------------------|---------|---|
| 1 | 登録番号 | ○ | 車両 | 「車両登録番号」 | = | 「自動車登録番号又は車両番号」 | | 代表車両の車両番号に「要審査」と入力した場合は全ての車検証チェックを行わない |
| 2 | 有効期間満了日 | ○ | 申請 | 「申請日」 | ≤ | 「有効期間の満了する日」 | | 有効期間中にエラーとなる場合あり(要窓口審査②) |
| 3 | 所有者名・使用者名 | | 申請 | 「会社名・氏名」または「代表者名」 | = | 「所有者の氏名又は名称」または「使用者の氏名又は名称」 | | |
| 4 | 住所 | | 申請 | 「住所」 | = | 「所有者の住所」または「使用者の住所」 | | |
| 5 | 幅 | | 型式 | 「幅」 | ≥ | 「幅」(付属物なし) | | |
| 6 | 高さ | | 型式 | 「高さ」 | ≥ | 「高さ」(付属物なし) | | |
| 7 | 車両自重 | ○ | 型式 | 「車両自重」 | ≥ | 「車両自重」(付属物なし) | | 車検証どおり入力してもエラーとなる場合あり(要窓口審査③) |
| 8 | 乗員定員 | ○ | 型式 | 「乗員」 | ≥ | 「乗車定員」 | | |
| 9 | 最大積載量 | ○ | 型式 | 「積載物重量」 | ≤ | 「最大積載量」 | 単車、トレーラ | ポールトレーラの一部は車検証どおり入力してもエラーとなる場合あり(要窓口審査⑥) |
| | | | | | | トレーラの「車両総重量」 | トラクタ | |
| 10 | 軸重 | ○ | 型式 | 「軸重」(空車時) | ≥ | 「軸重」 | 単車、トラクタ | 「その他軸種」はチェック対象外(要窓口審査①) 軸種に対応した軸重の記載位置でない場合はエラーとなる(要窓口申請④) 車検証の記載内容に不備があってもエラーとならない(要窓口審査⑥) |
| | | | | | ≤ | | トレーラ | |
| 11 | 車名 | | 型式 | 「車名」 | = | 「車名」 | | |
| 12 | 型式 | | 型式 | 「型式」 | = | 「型式」 | | |
| 13 | 緩和事項・制限事項・その他検査事項 | | 車両 | - | | 「緩和事項・制限事項・その他検査事項」 | | |
| 14 | ボールの長さ | | 車両 | 「積載物-長さ」 | ≤ | 制限事項 ボールの長さ | | |
| 15 | コンテナの大きさ | | 車両 | 「積載物-幅、高さ、長さ」 | = | 制限事項 積載するコンテナの大きさ | | |
| 16 | 海上コンテナの大きさ | | 車両 | 「積載物-幅、高さ、長さ」 | = | 制限事項 積載するコンテナの大きさ | | |
| 17 | けん引車両型式 | | 車両 | 「型式」 | = | 備考欄「けん引車両」の型式 | | |
| 18 | タンク車 | | 車両 | - | | 備考欄「タンク車」 | | |
| 19 | 車両総重量 | ○ | 型式 | 「車両自重」+「乗員重量」+「積載物重量」 | ≤ | 「車両総重量」 (保安基準緩和車両は緩和値) | 単車 | 「その他軸種」はチェック対象外(要窓口審査①) 乗車定員が奇数の場合は-5kgまでOKとなる |
| | | | | 「トラクタ自重」+「乗員重量」+「トレーラ自重(合成値)」+「積載物重量」 | ≤ | | トラクタ | |
| | | | | 「トレーラ自重」+「積載物重量」 | ≤ | | トレーラ | |
| 20 | 第5輪荷重 | ○ | 型式 | 「トレーラ自重」+「積載物重量」-「トレーラ軸重(積載時)の合計」 | ≤ | 「最大積載量欄中括弧内」 | トラクタ | 「その他軸種」はチェック対象外(要窓口審査①) 車検証の記載内容に不備があってもエラーとならない(要窓口審査⑥) |

4. 申請書作成時の補助機能

① 車検証チェックでエラーとなりやすいポイントを車両諸元入力時に表示

車両諸元説明書情報入力 (トレーラ)

新規に型式を追加する場合は「型式追加」ボタンを押して下さい。
 型式を削除する場合は「型式削除」ボタンを押して下さい。
 車名、型式より車両諸元データベースを参照する場合は、任意の型式を選択し「車両諸元参照」ボタンを押して下さい。
 車両の寸法は、貨物を積載した状態の寸法を入力して下さい。

車名、型式を変更する場合は、「申請車両情報登録メニュー」へ戻り「車両内訳書入力」を選択して下さい。

| | |
|------|-----------------------|
| 申請車種 | 一般セミトレーラ(バン型) |
| 軸種 | 軸数:5軸、トラクタ前1軸、トレーラ後3軸 |

4. 申請書作成時の補助機能

② 車検証チェックでエラーとなった車両をオンライン申請する方法

○車検証の記載内容の不備等により、車検証の記載値どおりに入力しても車検証エラーとなる場合、以下の対策をとることでオンライン申請可能とする

- ・代表車両(トラクタ・トレーラのいずれか)の陸運支局名を「要審査」とする
- ・該当車両の車検証を添付

⇒システムの車検証チェックを行わず、オンライン申請が可能となる
車検証情報照合結果表示

車検証情報との照合結果を確認してください。
差戻し対象欄に「○」がある項目は、申請書作成予約登録（申請データ作成）時にエラーとなる項目です。

| 車検証項目 | 差戻し対象 | メッセージ |
|---------|-------|---|
| 有効期間満了日 | ○ | 当申請の申請日時点では、すでに[AAAA・AB-CX123改]の車両の有効期間が満了しています。 |
| 会社名・氏名 | | 申請書の会社名・氏名または代表者名が、[AAAA・AB-CX123改]の車検証の所有者名または使用者名と異なります。確認してください。 |
| 幅 | | 申請された[AAAA・AB-CX123改]の幅が、車検証の車両の幅よりも小さい値です。申請内容を訂正してください。 |

車検証の記載内容どおりに入力してもエラーとなってしまう時は、窓口での審査を行いますので、代表車両の車両番号陸運支局名を「要審査」とし、車検証をスキャンしたものを添付して申請してください。

閉じる

エラーの状態
で申請する
場合の申請方法
を表示

5. 窓口事務所で車検証チェックを行う申請

＜車検証チェックが行われなため、窓口での車検証チェックが必要となるもの＞

| 条件 | チェック対象外項目 | エラーとなる理由 |
|-------|---------------------------|-------------------------------|
| その他軸種 | 車両自重、軸重、最大積載量、車両総重量、第5輪荷重 | システムによる判定が不可能のため、目検チェックが必須となる |

＜「要審査」として申請されるため、窓口での車検証チェックが必要となるもの＞

| エラーとなる項目 | エラーとなる理由 |
|---------------------|--|
| 2 車検証有効期間満了 | 車検証を取得後、車検証DBに更新データが反映される前に申請した場合、更新前の有効期間が適用され、車検証チェックエラーとなる |
| 7 車両自重 10 軸重 | 車検証の記載値が 各軸重の合計 > 車両自重 となっている場合、車両諸元を車検証どおりに入力しても車検証チェックエラーとなる |
| 9 最大積載量 19 車両総重量 | ポールトレーラで、トラクタへの分担荷重がある場合、申請データの入力では積載物重量は全てトレーラに入力するため、トレーラが最大積載量、車両総重量超過となる |
| 10 軸重 | 車検証の軸重記載位置が、車種、軸種に対応するパターンと異なる場合、車検証チェックエラーとなる |

＜車検証の記載内容に不備があるため、窓口での車検証チェックが必要となるもの＞

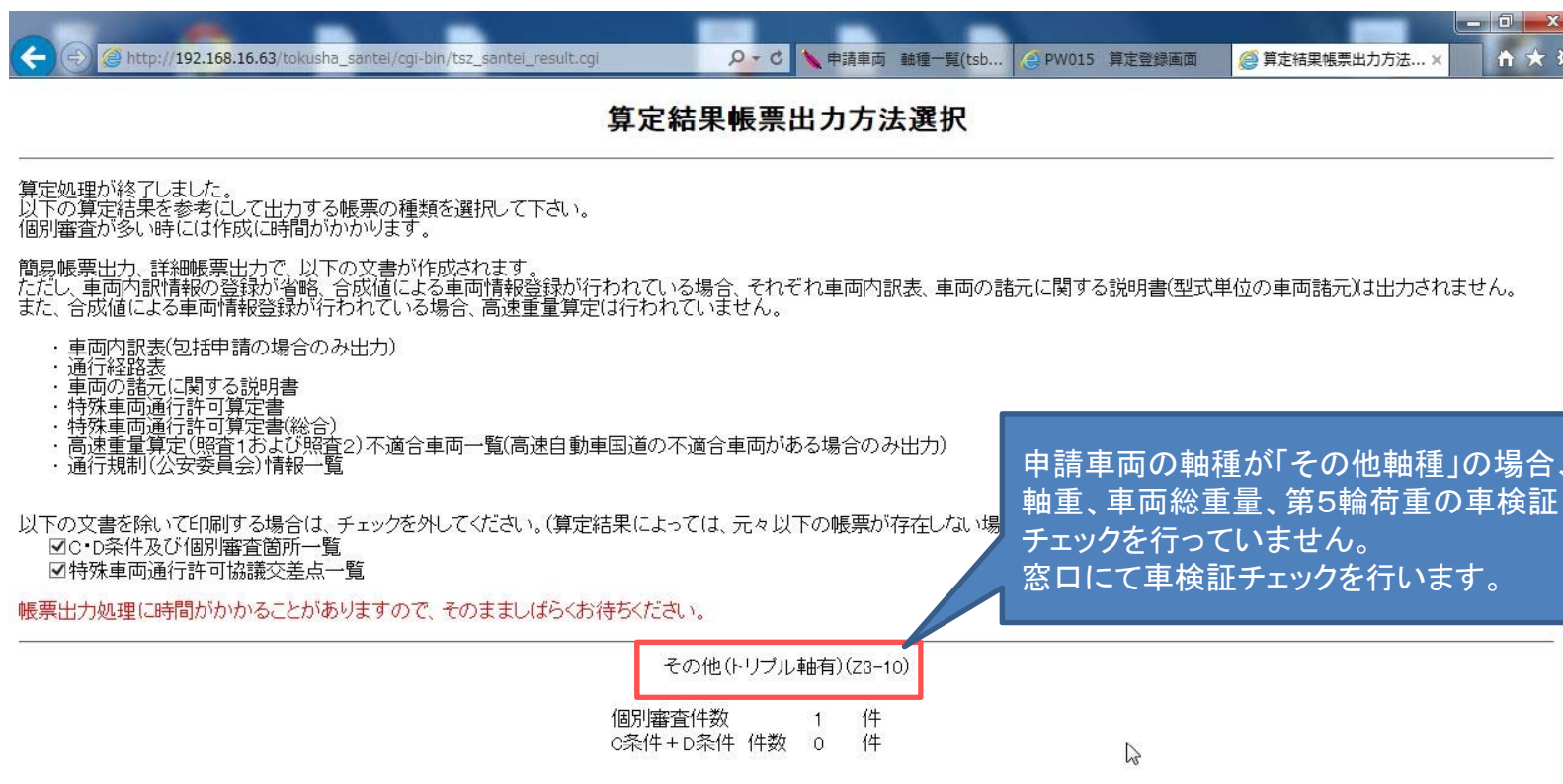
| エラーとなる項目 | 車検証の記載内容 | 車検証チェックの結果 |
|----------|--|--|
| 10 軸重 | 各軸重の記載がない | 車検証の軸重=0となるため、実際より小さな軸重を入力しても常に申請値 \geq 車検証値となり、車検証チェックでエラーとならない |
| 20 第5輪荷重 | トラクタの第5輪荷重が記載されるべき箇所(最大積載量括弧内)に、緩和時の最大積載量が記載されている | 一般に最大積載量 > 第5輪荷重であるため、第5輪荷重超過の状態でも申請値 \leq 車検証値となり、車検証チェックでエラーとならない |
| 7 車両自重 | 付属物(ポルスタ等)があるトラクタで、付属物込みの重量が車両自重下段(正しくは車両自重上段)に記載されている | 車検証チェックは車両自重下段の数値を用いるため、付属物の重量をトラクタに加算している場合(正しくはトレーラ自重に加算する)でも申請値 \leq 車検証値となり、車検証チェックでエラーとならない |

6. 窓口での車検証チェック対象申請①

<要窓口審査①:その他軸種>

その他軸種の車両⇒車検証チェック対象外

(けん引、被けん引の区別がつかないため、重量関連のチェックが行えない)



算定結果帳票出力方法選択

算定処理が終了しました。
以下の算定結果を参考にして出力する帳票の種類を選択して下さい。
個別審査が多い時には作成に時間がかかります。

簡易帳票出力、詳細帳票出力で、以下の文書が作成されます。
ただし、車両内訳情報の登録が省略、合成値による車両情報登録が行われている場合、それぞれ車両内訳表、車両の諸元に関する説明書(型式単位の車両諸元)は出力されません。
また、合成値による車両情報登録が行われている場合、高速重量算定は行われていません。

- ・ 車両内訳表(包括申請の場合のみ出力)
- ・ 通行経路表
- ・ 車両の諸元に関する説明書
- ・ 特殊車両通行許可算定書
- ・ 特殊車両通行許可算定書(総合)
- ・ 高速重量算定(照査1および照査2)不適合車両一覧(高速自動車国道の不適合車両がある場合のみ出力)
- ・ 通行規制(公安委員会)情報一覧

以下の文書を除いて印刷する場合は、チェックを外してください。(算定結果によっては、元々以下の帳票が存在しない場合)

C・D条件及び個別審査箇所一覧

特殊車両通行許可協議交差点一覧

帳票出力処理に時間がかかることがありますので、そのまましばらくお待ちください。

| | | |
|--------------------|---|---|
| その他(トリプル軸有)(Z3-10) | | |
| 個別審査件数 | 1 | 件 |
| C条件 + D条件 件数 | 0 | 件 |

申請車両の軸種が「その他軸種」の場合、軸重、車両総重量、第5輪荷重の車検証チェックを行っていません。窓口にて車検証チェックを行います。

6. 窓口での車検証チェック対象申請③

＜要窓口審査③:軸重の合計が車両自重と合わない＞

車検証の記載値が 各軸重の合計＞車両自重
となっている場合、どのように入力してもエラーとなる

自動車検査証 トラクタ (整理番号:1)

| 自動車登録番号又は車両番号 | | 初度登録年月 | | 車体の形状 | | | |
|---------------|---------|-----------------|---------|---------|------------------|------|---------|
| [REDACTED] | | 平成23年 8月 | | トラクタ | | | |
| 車名 | 乗車定員 | 最大積載量 | 車両重量 | | 車両総重量 | | |
| UDトラックス | 2 [2] 人 | 38080 [9600] kg | 6900 kg | | 45140 [16660] kg | | |
| 型式 | 車体の大きさ | | | 軸重 | | | |
| | 長さ | 幅 | 高さ | 前前軸重 | 前後軸重 | 後前軸重 | 後後軸重 |
| LKG-GK5XAB | 555 cm | 249 cm | 335 cm | 4760 kg | - kg | - kg | 2190 kg |
| 所有者の氏名又は名称 | | [REDACTED] | | | | | |
| 所有者の住所 | | [REDACTED] | | | | | |
| 使用者の氏名又は名称 | | [REDACTED] | | | | | |
| 使用者の住所 | | [REDACTED] | | | | | |
| 有効期間の満了する日 | | 平成27年 8月 21日 | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |

上記の場合、軸重の合計 $4760+2190=6950$ 、車両自重 $=6900$ となっている

- ・車検証通り入力:軸重の合計と車両自重が合わないため申請データチェックエラー
- ・車両自重を6950に変更:軸重の合計=車両自重となるが車両自重超過となりエラー
- ・前前軸重を4710に変更:軸重の合計=車両自重となるが軸重過小となりエラー

⇒「要審査」として申請し、窓口で車検証チェックを行います。

6. 窓口での車検証チェック対象申請④

＜要窓口審査④：車検証の軸重記載位置が軸重チェック対象軸に合致しない＞

申請軸種毎にチェック対象軸が設定されており、それに適合しない場合はエラーとなる
⇒「要審査」として申請し、窓口で車検証チェックを行います。

表1 軸重チェック対象軸

| 申請車種 | 申請軸種 | 車検証チェック対象軸 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------------|------------|----|----|----|--------|----|----|----|--------|----|----|----|--|--|---|---|
| | | トラクタトラック | | | | 第一トレーラ | | | | 第二トレーラ | | | | | | | |
| | | 前前 | 前後 | 後前 | 後後 | 前前 | 前後 | 後前 | 後後 | 前前 | 前後 | 後前 | 後後 | | | | |
| トラック 建設機械類 | T1.1 | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | T1.2 | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | T2.1 | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | T2.2 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 一般セミ 重セミ 海コン ポールトレーラ | S1.1-1 | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | S1.1-2 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | S1.2-1 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | S2.1-1 | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | S1.2-2 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | S2.1-2 | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | S1.1-3 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | S1.2-3 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | S2.1-3 | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| | フルトレーラ | F1.1-1.1 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | |
| F1.2-1.1 | | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| F2.1-1.1 | | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| ダブルス | D1.1-1-1.1 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| | D1.1-2-1.1 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| | D1.1-3-1.1 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| | D1.2-1-1.1 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| | D1.2-2-1.1 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| | D1.2-3-1.1 | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| | D2.1-1-1.1 | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| | D2.1-2-1.1 | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ |
| D2.1-2-1.1 | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ | |
| 上記全車種 | その他軸種 | チェック対象外 | | | | | | | | | | | | | | | |

チェック対象軸
(2軸トレーラの場合は後前・後後もしくは前
後・後後)
と一致しない場合はシステムチェックできない

自動車検査証 トレーラ (整理番号: 4)

| 自動車登録番号又は車両番号 | | 初度登録年月 | | の形状 | | | |
|---------------|--------|----------|---------|------------------|---------|------|---------|
| [黒塗り] | | 平成14年 3月 | | コンテナセ [黒塗り] ーラ | | | |
| 車名 | 乗車定員 | 最大積載量 | 車両重量 | 車両総重量 | | | |
| フルハーフ | 一人 | 20500 kg | 3470 kg | 23970 [23970] kg | | | |
| 型式 | 車体の大きさ | | | 軸重 | | | |
| | 長さ | 幅 | 高さ | 前前軸重 | 前後軸重 | 後前軸重 | 後後軸重 |
| KFKCF220 | 861 cm | 246 cm | 146 cm | - kg | 1420 kg | - kg | 1400 kg |
| 所有者の氏名又は名称 | | [黒塗り] | | | | | |
| 所有者の住所 | | [黒塗り] | | | | | |
| 使用者の氏名又は名称 | | [黒塗り] | | | | | |
| 使用者の住所 | | [黒塗り] | | | | | |
| 有効期間の満了する日 | | [黒塗り] | | | | | |
| 備考 | | [黒塗り] | | | | | |

6. 窓口での車検証チェック対象申請⑤

<要窓口審査⑤:ポールトレーラ>

ポールトレーラは、トラクタの分担荷重が設定されていることがあり、その場合は車検証チェックでトレーラの総重量エラーとなります。

⇒「要審査」として申請し、窓口で車検証チェックを行います。

| 自動車検査証 (1/2) | | | | |
|-----------------|--|-----------|---------------|--------------|
| 自動車検査証番号 | 初度登録年月 | 自動車の種別 | 用途(自家用・事業用の別) | 車体 |
| 平成 21 年 4 月 8 日 | 平成 16 年 2 月 | 普通 貨物 事業用 | トラクタ | [027] |
| 車検番号 | [215] | 乗車定員 | 最大積載重量 | 車両総重量 |
| | | [2] | 14000 | [11190] |
| 車検番号 | | 長さ | 幅 | 高さ |
| | | 27.2 | 5.02 | 10570 |
| 原動機の型式 | RH10 | 燃料の種類 | 型式指定番号 | 類別区分番号 |
| | | 26.50 軽油 | | [23008-0669] |
| 所有者の氏名又は名称 | | | | [23008-0614] |
| 所有者の住所 | | | | |
| 使用者の氏名又は名称 | | | | |
| 使用者の住所 | | | | |
| 使用の本職の位置 | | | | |
| 有効期間の満了する日 | 平成 27 年 3 月 9 日 | | | |
| 備考 | *トラック・トラクタ* *保安基準緩和* [認注年月日] 平成22年7月30日[中部運輸局]4.6.5[緩和事項] [0.0.4] 車両総重量 [0.0.5] 軸重 [0.5.6] 併装軸重 [制限事項] [0.0.4] 自動車の後面及び運転者席には、車両総重量を表示すること。 [0.0.5] 自動車の後面及び運転者席には、軸重を表示すること。 [0.9.1] 運行記録計を備え、運行状況の記録をすること。 [0.9.2] 運行にあたっては、道路交通法及び道路法を厳守すること。 [0.9.5] 自動車の後面及び運転者席には、併装軸重を表示すること。 [改造内容] 自中部第1030号 平成22年5月17日 [1.5.9.8] 連結装置 [その他検査事項] [1.0.5] 最大積載欄中上段の括弧内は、分担荷重を示す。(1)ポールけん引時、前々軸重5430KG、後々軸重40KG、後々軸重2820KG (920)燃 | | | |

申請データでは、トラクタに分担される荷重もトレーラの積載重量として入力するため、トレーラの車両総重量超過となる

6. 窓口での車検証チェック対象申請⑥

<要窓口審査⑥:車検証の記載内容に不備がある>

例)

1. 車検証の第5輪荷重が正しく記載されていない
 2. 軸重が記載されていない
 3. ポルスタありとポルスタありの自重の記載位置が逆転している
- ⇒車検証チェックではエラーと取りますが、正しい車検証チェックが行われていないため、「要審査」として申請し、窓口で車検証チェックを行います。

1. の例
第5輪荷重欄に保安基準緩和時の最大積載量が記載されている

| 自動車検査証 | | 初度登録年月 | | 自動車の種別 | | 用途 | | 車体の形状 | |
|---------------|----------------|----------------|---------------------------------|--------|-------|---------------------------------|-------|-------|-------|
| 自動車登録番号又は車両番号 | 平成 20年 12月 29日 | 平成 20年 12月 29日 | 普通 | 貨物 | 乗用車 | 乗用車 | 乗用車 | 乗用車 | 乗用車 |
| 車名 | トヨタ | トヨタ | 乗用車 | 乗用車 | 乗用車 | 乗用車 | 乗用車 | 乗用車 | 乗用車 |
| 乗車定員 | 2 | 2 | 乗車定員 | 乗車定員 | 乗車定員 | 乗車定員 | 乗車定員 | 乗車定員 | 乗車定員 |
| 長さ | 4,235 | 4,235 | 幅 | 1,600 | 1,600 | 高さ | 1,500 | 1,500 | 1,500 |
| 前軸重 | 1,000 | 1,000 | 前後軸重 | 前後軸重 | 前後軸重 | 前後軸重 | 前後軸重 | 前後軸重 | 前後軸重 |
| 後軸重 | 3,019 | 3,019 | 後軸重 | 後軸重 | 後軸重 | 後軸重 | 後軸重 | 後軸重 | 後軸重 |
| 車両総重量 | 4,019 | 4,019 | 車両総重量 | 車両総重量 | 車両総重量 | 車両総重量 | 車両総重量 | 車両総重量 | 車両総重量 |
| 原動機の型式 | 685 | 685 | 燃料の種類 | 33 | 5390 | 2400 | 2290 | 2290 | 2290 |
| 原動機の排気量 | 1,800 | 1,800 | 排気量 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 | 1,800 |
| 原動機の型式 | 12.80 | 12.80 | 排気量 | 12.80 | 12.80 | 12.80 | 12.80 | 12.80 | 12.80 |
| 所有者の氏名又は名称 | | | 所有者の住所 | | | 使用者の氏名又は名称 | | | |
| 所有者の住所 | | | 使用者の住所 | | | 有効期間の満了する日 | | | |
| 使用者の氏名又は名称 | | | 有効期間の満了する日 | | | 備考 | | | |
| 使用者の住所 | | | 備考 | | | 092 運行にあたっては、道路交通法及び道路法を遵守すること。 | | | |
| 使用の本拠の位置 | | | 095 自動車の後面及び運転者席には、降圧軸重を表示すること。 | | | と。【142】黄色の点滅灯の点灯は、軸が3メートル以上のト | | | |
| 有効期間の満了する日 | | | レーラ又は連結時全長が16.5メートルを超えるトレーラをけん引 | | | している場合に限る。 | | | |
| 備考 | | | 【その他特事項】【109】速度制限装置付、最高速度60キロメ | | | ートル毎時以下 (920) 燃料タンク 1個 4.00L | | | |
| | | | 最大積載量欄中括弧内は第五輪荷重を、括弧外はけん引重量を示し、 | | | 車両総重量欄中括弧内は車両総重量を示す。 | | | |
| | | | 以下余白 | | | | | | |

2. の例
軸重が記載されていない

自動車検査証 トラクタ (整理番号: 1)

| 自動車登録番号又は車両番号 | | 初度登録年月 | | 車体の形状 | |
|---|---------|------------------|---------|------------------|------|
| 車名 | 乗車定員 | 最大積載量 | 車両 | 車両 | 車両 |
| 三菱 | 3 [3] 人 | 42350 [15000] kg | 9140 kg | 51655 [24305] kg | |
| 型式 | 車体の大きさ | | 軸重 | | |
| 長さ | 幅 | 高さ | 前軸重 | 前後軸重 | 後軸重 |
| W150 | 690 cm | 243 cm | 290 cm | - kg | - kg |
| 所有者の氏名又は名称 | | | | | |
| 所有者の住所 | | | | | |
| 使用者の氏名又は名称 | | | | | |
| 使用者の住所 | | | | | |
| 有効期間の満了する日 | | | | | |
| 備考 | | | | | |
| *保安基準緩和* | | | | | |
| [認定年月日] 昭和47年9月6日 | | | | | |
| [中国運輸局] 00129 | | | | | |
| [緩和事項] | | | | | |
| [004] 車両総重量 | | | | | |
| [制限事項] | | | | | |
| [004] 自動車の後面及び運転者席には、車両総重量を表示すること。 | | | | | |
| [091] 運行記録計を備え、運行状況の記録をすること。 | | | | | |
| [092] 運行にあたっては、道路交通法及び道路法を遵守すること。 | | | | | |
| 最大積載量欄中括弧内は第五輪荷重を、括弧外はけん引重量を示し、車両総重量欄中括弧内は車両総重量を示す。 | | | | | |

7. 車検証チェック機能の一時停止の背景

現在、車検証チェックについて申請者より以下の課題が報告されております。

| No. | 項目 | 内容 |
|-----|------------------------------|---|
| 1 | ポールトレーラの分担荷重の扱い | ポールトレーラでは積載物重量の最大40%をトラクタに分担させることができるが、申請書では積載物重量の合計をトレーラに入力するため、車検証チェックでトレーラの積載物重量及び車両総重量超過エラーとなる |
| 2 | 亀の子キャリアカーのトラクタに積載する重量の扱い | 亀の子キャリアカーではトラクタにも車両を積載するが、申請書では積載物重量の合計をトレーラに入力するため、車検証チェックでトレーラの積載物重量及び車両総重量超過エラーとなる |
| 3 | 同一型式で車両自重の異なる車両の扱い | 同一型式で車両自重の異なる車両(特に積載貨物のない建設機械)の場合、車両自重を合成値(最大値)を入力すると、車両総重量の小さな車両で車両総重量超過エラーとなる。 (エラーとならないようにするには、同じ型式でも整理番号を分けて入力する必要がある) |
| 4 | トラクタの付属物(ポルスタ・ターンテーブル等)重量の扱い | 車検証に付属物重量込みの軸重が記載されている場合、付属物重量をトレーラに配分することができない また、一部の窓口で付属物重量はトラクタに加算するよう指導しており、運用が統一されていない |
| 5 | 軸重・総重量等が備考欄に記入されている車両の扱い | 保安基準緩和車両やリフトアクスル車等、軸重・総重量が車検証の備考欄に記載されている場合、その値は車検証チェックには使用されないため、エラーとなる場合がある |
| 6 | 代表車両が「要審査」と記載された申請書の運用 | 「要審査」と記載された代表車両は車検証を添付して申請する必要がある また、申請書に「要審査」と記載されたまま許可発行されてしまう可能性があり、関係機関(警察等)との協議に支障をきたす可能性がある |

7. 車検証チェック機能の一時停止の背景

○結果

6月1日からの車検証チェック機能の再開により、4項以降の対策・対応を行ってまいりましたが、7項に示す課題による対応が、申請者の負担となっていることから、車検証チェック機能を一時停止します。

再開時期につきましては、申請者の負担を軽減させる対応をした後、改めてお知らせします。

なお、車検証チェック機能の停止期間中につきましては、従来どおり受付窓口にて車検証との整合性チェックを行います。